

平成28年度

保育園の自己点検・自己評価

日新保育園

記入方法

* 個人評価ではなく、園としての評価です。

* 4段階評価です。該当する欄に○印を付けて下さい。

園の目標 「清らかなこの目、このひとみをみんなで守り育てよう」

- 1、健康で純真な子ども
- 2、友だちづくりのできる子ども
- 3、思いやりのある子ども
- 4、いろいろなことに興味と関心をもつ子ども

4. たいへんよい
3. まあまあよい
2. 一部検討を要する
1. 改善を要する

今年度の重点 「自然の中でのびのびと遊ぶ子ども」

項目	内 容		評価				改善に向けて
			4	3	2	1	
保育課程について	(1)	保育目標の具体化に向け、子どもの実態を踏まえた重点目標を設定している。	○				全職員で検討し、共通理解を図るための話し合いが必要。
	(2)	保育課程は、前年度の反省を生かしている。		○			
	(3)	保育課程は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。		○			
	(4)	P(計画)・D(実施)・C(評価)・A(改善)の体制をとっている。		○			
保育について	(1)	指導計画は、子どもの実態に即して作成している。		○			反省を指導計画や保育に十分に生かしていけるよう意識していく。
	(2)	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。		○			
	(3)	発達過程を踏まえた1日の流れ(ディリープログラム等)になっている。	○				
	(4)	環境構成の工夫や過程を意識した保育をしている。		○			
	(5)	素材・用具を適切に活用している。		○			
	(6)	P・D・C・Aを意識して保育している。		○			
行事について	(1)	行事の種類や実施回数は適切である。		○			子どもたちが無理なく参加できるよう、行事の内容については今後も検討を重ねていく。
	(2)	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。		○			
	(3)	子どもの活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。		○			
	(4)	保護者の要望や意見、地域性を取り入れている。		○			
	(5)	P・D・C・Aサイクルで実施している。	○				
職務	(1)	職務内容が明確で、協働できる体制になっている。		○			職員が自分の立場を理解し、園の運営に関わっていけるよう意識を高めていく。
	(2)	職務の分担、割り当てが適切に行われている。		○			
	(3)	各種会議を適切かつ効率的に進めている。	○				
	(4)	職員相互がそれぞれ全体的な立場を理解し、協力や助言を惜しむ事なく園の運営に関わっている。		○			
連携	(1)	子どもの状況について関係する全職員が周知している。		○			園内研修等により、話し合いの場を多く持つ。
	(2)	職員同士が打ち合わせや研修を行い、お互いの保育に対しての理解を深め、援助についての共通理解が図られている。		○			
	(3)	地域等との年間交流計画は保育過程に沿ったものになっている。		○			
	(4)	地域の人達と楽しく触れ合う事ができるような配慮や援助をしている。	○				
組 織	クラス経営	(1)	年齢別・クラス別目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している。	○			些細なことでも、クラス内で共通理解や意識統一を図っていけるようにする。
		(2)	年齢別・クラス別目標は、子どもの実態に即して設定している。		○		
		(3)	年齢別・クラス別目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定している。		○		
		(4)	同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っている。		○		
		(5)	共通理解を図り複数の目で保育をしている。		○		
		(6)	評価、資料(諸記録)を集積している。		○		
	特別支援教育	(1)	全職員で情報を共有し、チームで対応している。		○		家庭との良い関係を築き、早い時期から専門機関との連携を図っていく。
		(2)	個別の指導計画を作成している。		○		
		(3)	家庭や専門機関との連携を図っている。		○		
	健康・安全・防災教育	(1)	健康な生活を送れる為の保健対策をこうじている。	○			担任から家庭への啓発活動を増やしていく。
		(2)	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している。	○			
		(3)	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭での啓発を行っている。		○		
		(4)	子どもの安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。		○		

項目	内 容		評価				改善に向けて
			4	3	2	1	
食育	(1)	年齢に応じて食事を楽しむ事ができる工夫や配慮がなされている。			○		給食担当者と保育士間の連携を図り、相互理解を深めていく。
	(2)	多様な食の体験活動が行われている。		○			
	(3)	アレルギー対応については、保護者や職員・関係機関と連携をとり適切に行っている。		○			
研究・研修	園内研修	(1) 研究テーマは、保育目標の具現化につながるものである。		○			意見を出しやすい場の設定をしていく。
		(2) 園内研修の計画・運営は適切である。		○			
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている。		○			
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っている。	○				様々な研修に積極的に参加し、学びを保育の質につなげていく。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を職員に伝え、共通理解を図っている。	○				
情報	(1)	子どもや保護者に関する個人情報を適切に取り扱っている。	○				守秘義務を理解し、個人情報の適切な取り扱いを徹底していく。
	(2)	知り得た情報等の守秘義務を果たしている。	○				
施設・設備	(1)	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている。	○				子どもたちが活用しやすいように、意識統一を図りながら整理整頓を行っていく。
	(2)	遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管している。		○			
	(3)	不審者等に対応する備え(装置や設備など)がある。	○				
経出納	(1)	各種会計を適正かつ適切に管理・処理している。(集金等を含む)	○				
開かれた園づくり	幼保・学校間交流・連携	(1) 職員同士が情報交換や研修等を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助についての共通理解を図っている。		○			今後も計画的な交流や連携を積極的に図っていく。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解している。		○			
		(3) 他施設等との年間交流計画は、保育目標やねらいに添ったものになっている。		○			
		(4) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、子どもが楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っている。		○			
開かれた園づくり	家庭・地域との連携	(1) 希望者に対し、見学や参観を行っている。	○				地域社会その他の施設との交流は、子どもたちの負担にならないよう計画的に行っていく。
		(2) 保護者を含む人材活用をしている。		○			
		(3) 子どもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している。	○				
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域文化や生活に触れている。	○				
	子育て支援	(1) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶ事が出来るような場の設定を行っている。	○				園開放日を設けているが、内容については参加者増となるよう検討していく。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定している。		○			
		(3) 子育て相談を随時行えるような体制になっている。		○			
		(4) 専門機関との連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。	○				
	情報の発信	(1) 各種たより・ホームページ等で施設の情報を発信している。	○				HPのスナップショットは、クラスの偏りがないように更新していく。
	評価校	(1) 地域や保護者の意見を施設運営に反映している。		○			今後も保護者アンケート等による意見を反映させていく。